

News Release

2014年4月22日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2013年度「第Ⅳ四半期(1-3月)及び2013年度」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2013年度「第Ⅳ四半期及び2013年度」の受注実績を公表致します。

2013年度 第Ⅳ四半期(1-3月)の概要

【概況】

第Ⅳ四半期受注額は4,361億円(前年度同期比103.4%)と内外需ともに増加し、2四半期連続の前年同期比超えとなった。(※以下、前年度同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

■内需

内需は3,107億円(同103.0%)となった。製造業、官公需が減少したものの、非製造業のうちの大口需要先である電力業の増加が全体を押し上げた。

- 製造業は646億円(同93.5%)となり、3四半期ぶりの前年同期比割れとなった。はん用・生産用・業務用機械は193億円(同102.4%)と増加したものの、鉄鋼業が99億円(同78.8%)、自動車83億円(同76.0%)が減少した。
- 非製造業は1,989億円(同115.7%)となった。電力業が1,452億円(同150.4%)と、遮断器、配電装置などが増加したことにより、5四半期ぶりに増加した。

■外需

外需は1,254億円(同104.6%)となり、2四半期連続の前年同期比超えとなった。

【製品別動向】

交流電動機522億円(同140.9%)、遮断器190億円(同140.4%)と大幅に増加した。一方、太陽光発電向け設備の増加を背景に好調に推移していた電力変換装置は397億円(同)と、昨年1-3月期の水準が高いこともあり、前年同期比80.6%となった。また、発電機も271億円(同57.3%)となった。

2013年度 重電機器受注生産品受注実績

2013年度受注額は、1兆6,046億円(同100.3%)と前年並みとなった。

- 内需は1兆1,254億円(同97.6%)となった。内訳をみると製造業、官公需は増加したものの、非製造業の大口需要先である電力業(同91.1%)の減少が全体を押し下げた。外需は下期から持ち直し、年度では4,791億円(同107.3%)と、前年度を超えた。

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であります。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であります。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

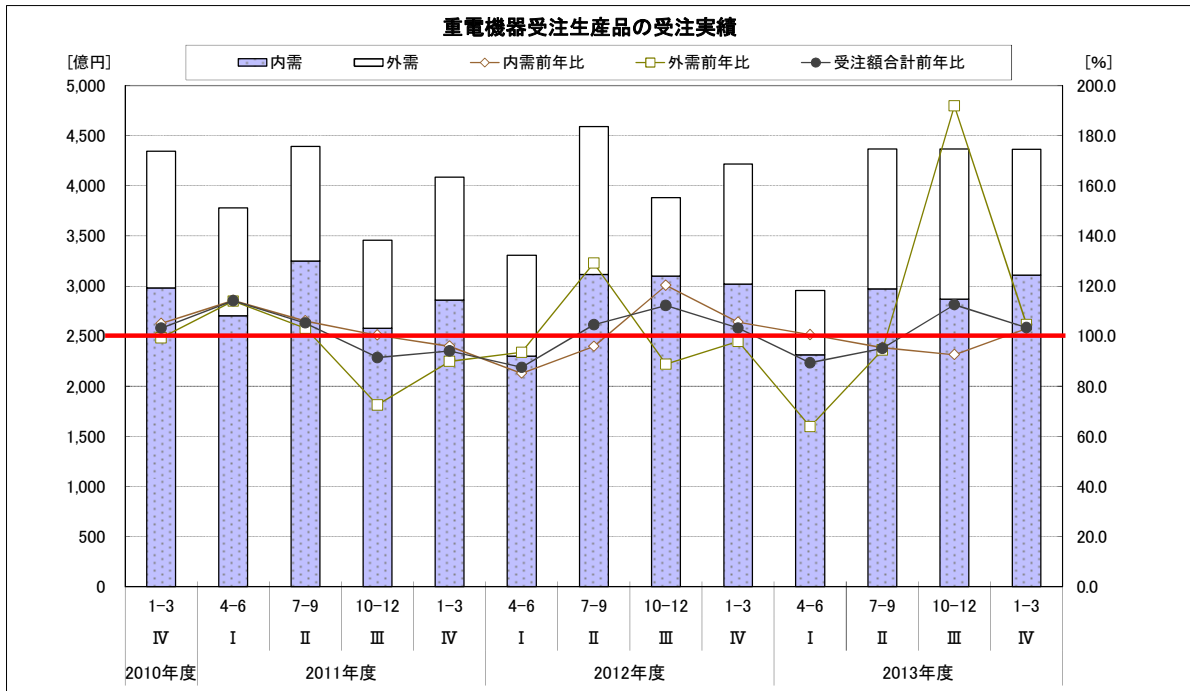
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■公表の形態

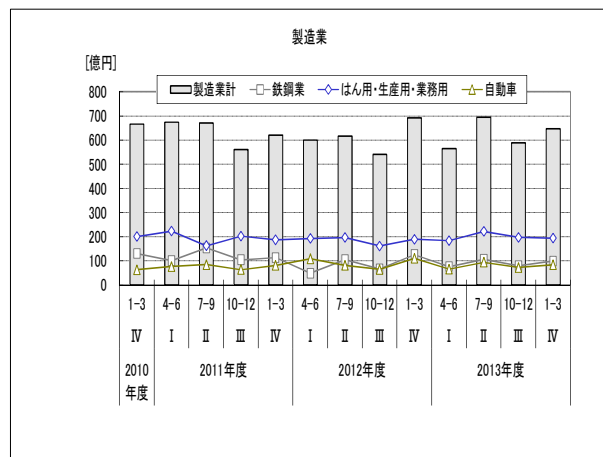
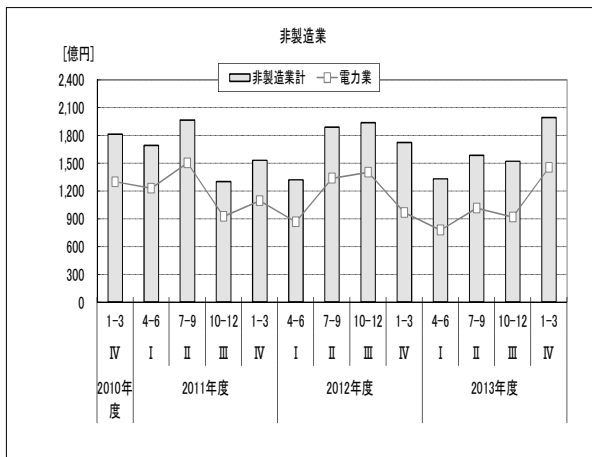
- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■ 四半期実績の推移

【受注実績: 内需+外需】



【内需内訳】



■ 年度実績の推移

